

地域創生学科 国際共生コース カリキュラム・マップ

課題探究型地域創生人材ルーブリックの観点		
①地域・社会への関心と理解	⑤課題に対する解決策の創造と提案	⑧仲間・チームの牽引(対人基礎力関係)
②教養的知識への関心と活用	⑥主体的な学修姿勢	⑨困難な状況への対処(対自己基礎力関係)
③専門的な知識・技能の習得と活用	⑦多様性尊重と他者との協働	⑩目標の設定と実践・改善(対課題基礎力関係)
④情報の適切な収集・解釈と他者への発信		
地域創生学科 国際共生コース ディプロマ・ポリシー		
A 文化的背景の異なる人々との相互理解・多文化共生を可能とするコミュニケーション能力を有している。		
B 日本や世界の各地で継承・展開されてきた諸文化に関する体系的知識や、文化に関わるさまざまな資料・事象を読み解く能力、客観的データに基づく実証的分析能力を有している。		
C 地域に暮らす人々のウェルビーイング(well-being)に寄与するという観点から地域課題を解決し、地域社会の持続的な発展に向けた企画を立案・実践するための体系的知識を有し、手法を身につけている。		
D 日本や世界の各地で継承・展開されてきた言語文化の特質を理解し、多様な他者と適切なコミュニケーションを図ることができる。		
E 日本や世界の各地で継承・展開されてきた社会文化の特質と価値を理解し、その考察の成果を十分に表現することができる。		
F 日本や世界の各地の地域文化に関わる諸問題について、言語、社会、歴史、政治、教育、法、文芸、芸術、思想、心理などの人文的・社会的観点から複眼的に考察し、その成果を十分に表現することができる。		
G 地域に暮らす人々のウェルビーイング(well-being)に寄与するという観点から地域課題を解決し、地域社会の持続的な発展につながる企画を立案、提案することができる。		
H 多様な人々が暮らす地域社会において対話・コミュニケーションの場を創出し、媒介機能を担うことができる。		
I 多様な価値観が尊重され、すべての人がお互いの人権と尊厳を大切に、支え合い、誰もが生き生きとした幸福な人生を送ることができる共生社会を実現するために、人間・言語・社会のあり方について考え続けるとともに、グローバルな視点・立場から、自らが働き、暮らし、活動する地域社会の諸課題を発見し、その解決に向けて行動することができる。		
【凡例】		
◎⇒課題探究型地域創生人材ルーブリックまたはディプロマ・ポリシーが示す到達目標との関連性が特に強い科目		
○⇒課題探究型地域創生人材ルーブリックまたはディプロマ・ポリシーが示す到達目標との関連性がある科目		

課題探究型地域創生人材ルーブリックの観点															
科目区分 コア・ユ ニット	科目名	配当 年次	地域 指向性	知識 技能②③			思考力・判断力 表現力④⑤				主体性 協働性⑥⑦		親和力 統率力	忍耐力 柔軟性	行動力 挑戦心
			①	A	B	C	D	E	F	G	H	I	⑧	⑨	⑩

地域創生学科 国際共生コース カリキュラム・マップ

専門 教育 科目	中 上 級 外 国 語 科 目	上級英語総合(Critical Reading I)	1・2・3・4		○	○		◎	○	○		○	○	○	
		上級英語総合(Critical Reading II)	1・2・3・4		○			○	○	◎		○	○		
		上級英語総合(Cross-Cultural Studies)	2・3・4		○			○	○	◎		○	○		
		上級英語総合(Seminar)	2・3・4		○			○	○	◎		○	○		
		上級英語表現(Global Communication I)	1・2・3・4	◎	○	○		○	○	◎		○	○	○	○
		上級英語表現(Global Communication II)	1・2・3・4	◎	○	○		○	○	◎		○	○	○	○
		上級英語表現(Presentation I)	2・3・4	◎	○	○		○	○	◎		○	○	○	○
		上級英語表現(Presentation II)	2・3・4	◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○
		中級中国語総合	1・2・3・4		◎	○		○	○	○		○		○	○
		上級中国語総合	2・3・4		◎	○		○	○	○		○		○	○
		中級中国語表現	2・3・4		◎	○		○	○	○	○	○		○	○
		上級中国語表現	2・3・4		◎	○		○	○	○	○	○		○	○
		中級韓国語総合	1・2・3・4		◎	○				○		○			○
		上級韓国語総合	2・3・4		◎	○				○		○			○
		中級韓国語表現	2・3・4		◎	○		○	○	○		○		○	○
		上級韓国語表現	2・3・4		◎	○		○	○	○		○		○	○
	外国語検定(英語) I (認定)	1・2・3・4		○	○		○	○	◎		○	○	○		
	外国語検定(英語) II (認定)	1・2・3・4		○	○		○	○	◎		○	○	○		
	外国語検定(英語) III (認定)	1・2・3・4		○	○		○	○	◎		○	○	○		
	外国語検定(中国語) I (認定)	1・2・3・4		○	○		○	○	◎		○	○	○	○	
	外国語検定(中国語) II (認定)	1・2・3・4		○	○		○	○	◎		○	○	○	○	
	外国語検定(中国語) III (認定)	1・2・3・4		○	○		○	○	◎		○	○	○	○	
	外国語検定(韓国語) I (認定)	1・2・3・4		◎	○				○		○			○	
	外国語検定(韓国語) II (認定)	1・2・3・4		◎	○				○		○			○	
	外国語検定(韓国語) III (認定)	1・2・3・4		◎	○				○		○			○	
	多 文 化 共 生 コ ア ユ ニ ッ ト	国際共生社会論	2・3・4	◎	◎	○	○		○	○	○	○	◎		○
		多文化共生教育論	2・3・4	○	○	○	◎		○		○	○	○	○	○
		国際共生のための認知心理論	2・3・4		○	○	◎				○	○	○	○	○
英語圏社会文化論		2・3・4	◎	○	◎		○	◎	○		○			○	
英語文学論		2・3・4		○	○		○	◎	○	○		○	○		
米国社会文化論		2・3・4		○	○		○	◎			○	○			
英米文化史		2・3・4		○	○		○	◎			○	○			
英語学		2・3・4		○	○		○	○	◎		○	○	○		
英語コミュニケーション		2・3・4		○	○		○	○	◎		○	○	○	○	
共生言語論		2・3・4	○	○	○		○	○	◎		○	○	○	○	
日本語教育学		2・3・4		○	○		◎	○	○				○		
多文化社会とことばの教育		2・3・4		◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○			○	
東アジア社会文化論	2・3・4		○	◎		◎	◎	◎		◎	○	○			
東アジア共生社会論	2・3・4	○	○	○		○	○		◎	◎	◎				
韓国語学	2・3・4		◎	○		○	○	○		○		○	○		
東アジア比較文化論	2・3・4	○	○	○		○	◎	○	○	○		○	○		
国際関係史論	2・3・4		○	○		○	◎		○	○	○	○			

科目区分 コア・ユ ニット	科目名	配当 年次	地域 指向性	知識 技能②③			思考力・判断力 表現力④⑤					主体性 協働性⑥⑦		親和力 統率力	忍耐力 柔軟性	行動力 挑戦心
			①	A	B	C	D	E	F	G	H	I	⑧	⑨	⑩	
多文化共生 コア・ユ ニット	多文化共生実践	3・4	◎	◎	◎	○			◎	○	◎	◎	○		◎	
	多文化共生教育論研究	3・4	◎	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	
	国際共生のための認知心理論研究	3・4		○	○	○				◎	○	○	○	○	○	
	多文化接触と言語	3・4		○			◎		○		○		○		○	
	英語表現	3・4	◎	◎	○	○	○				○	○			○	
	英語文学論研究	3・4		○	○		◎	○	○	○			○	○		
	米国社会文化論研究	3・4		○	○		○	◎				○	○			
	英語学研究	3・4		○	○		○	○	◎	○		○	○	○	○	
	英文法	3・4		○	○		○	○	◎			○				
	共生言語論研究	3・4	○	○	○		○	○	◎		○	○	○	○	○	
	ディベート・プレゼンテーション	3・4		○			○	○	◎		○	○	○			
	日本語教授法	3・4		○	○		○	○	◎		○		◎	○	○	
	日本語教育実習	3・4		○	○	○	○	○	○		◎		○	◎	◎	
	東アジア社会文化論研究	3・4		○	◎	◎	◎	○	○		◎					
	韓国語学研究	3・4		◎	○		○	○	○			○		○	○	
	東アジア比較文化論研究	3・4	○	○	○		○	◎		○		○		○	○	
	文化継承 コア・ユ ニット	日本文化史論	2・3・4	○		○	○		◎		○					
		東アジア地域史論	2・3・4	○	○	○		○	◎		○		○	○	○	○
		東アジア交流史論	2・3・4	○	○	○		◎	○		○		○	○	○	○
		書誌学	2・3・4	○		◎		○	○	○				○		
		日本古典文学	2・3・4	○		◎		○	○	○						
		古典文芸で考える共生社会	2・3・4	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○			
		古典文芸で読む日本文化	2・3・4	○	○	◎		○	○	○						
		日本近現代文学	2・3・4	○		◎		○	○	○			○			○
		日本近現代文学特論(原爆文学)	2・3・4	○	○	◎		○	○	○		○	○		○	○
		日本語学Ⅰ	2・3・4	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
日本語学Ⅱ		2・3・4	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
漢文学		2・3・4	○				◎	○	○			○				
日中比較文学論		2・3・4		○	◎		○	○				○	○	○	○	
書道・書写		2・3・4		○	◎		○	○	○							
博物館概論		2・3・4	○			◎		○		○	○	○				
博物館経営論		2・3・4	○			◎		○			○	○			○	
博物館資料論	2・3・4		○	◎		○	○				○	○	○	○		
生涯学習概論	2・3・4			○		○	○		○		◎			○		
文化継承 コア・ユ ニット	文化継承実践	3・4	◎			○				○		○			○	
	日本文化史論研究	3・4	○		○	○		◎	○		○				○	
	東アジア地域史論研究	3・4	○	○	◎		○	○		○		○	○	○	○	
	日本古典文学研究	3・4	○		◎		○	○	○						○	
	日本近現代文学研究	3・4		○	○		○	○	◎		○	○			○	
	日本語学研究	3・4	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	
	漢文学研究	3・4	○				◎	○	○			○				
	博物館資料保存論	3・4		○	◎		○	○				○	○	○	○	
	博物館展示論	3・4		○	◎		○	○				○	○	○	○	
	博物館教育論	3・4		○	◎		○	○				○	○	○	○	
	博物館情報・メディア論	3・4				◎				○		○		○	○	
博物館実習	4	○		○	○		○		○	○	○		○	◎		
国際共生 フィールド ワーク	国際共生フィールドワーク(国内)	1・2・3・4	○	○	○		○	◎	○	○	○	○		○	◎	
	国際共生フィールドワーク(国外)	1・2・3・4	○	○	○		○	◎		○	○	○		○	◎	
隣接 領域 専門 科目	地域産業特別講義	2・3・4	◎			○				○		○				
	NPO論	2	◎			○				○		○	○		○	
	地域経営論	2	◎			○				○	○				○	
	地域産業論	3	◎			○				○	○					
	地域調査法	3	◎			○				○						
	行動経済学	3			○	◎				○	○		○	○		
	憲法	2		○						○	○		◎			
	行政法	3		○						◎	○		○			
統治システム論	3		○						◎	○		○				
地域協働演習	3・4			○	◎	○					○	○	○	○		